

本書のねらいと構成

本書は数学検定1級のなかでも、まずは1次検定(計算技能検定)に合格することからねらいを絞った対策本である。1次検定は必須問題7問を60分の試験時間内に解かねばならず、また、解答用紙には計算の過程は記さずに答えのみを書くから部分点は期待できない。正確で速い計算力が求められるだけでなく、定理や公式を正しく理解していることが重要である。

分野別に確実に力をつけるために、各章は次のように3段階構成になっている。

Step1 重要事項



重要な概念や定義、定理などを簡潔にまとめた。既習事項の再確認や本番直前の復習に役立ててほしい。

Step2 基本例題



基本的な例題とその解き方を示した。1次検定の試験本番では(答)だけを書くが、計算過程を理解せずにたどりつくことは不可能であるからしっかり理解してほしい。計算過程はできる限り省略せず示すようにしたが、脚註で補足したところもある。また、定理や公式などの式変形の根拠も脚註で解説した。

Step3 過去問題



実際に過去の数学検定で出題された問題を掲載した。力だめしとして、そして計算スピードも少し意識しながら挑戦してみしてほしい。



付 録

巻末に過去問題1回分(1次・2次)を掲載した。特に初めて受検するときには1次と2次の両方を受ける必要があるので、受検前に問題の特徴や違いを把握しておくのが望ましい。